



Minami Wakayama
Medical Center

Vol.66

発刊：令和6年1月

南 輝

なんき

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センターだより



初日の出 撮影者 診療放射線技師 大槻 勇一郎

基本理念 思いやりのある医療を実践します。

あなたの権利を尊重し
あなたを中心とした
あなたに適した医療を提供します

1. プライバシーの尊重を実践します。
2. 親切・丁寧なケアを実践します。
3. わかりやすい説明と納得による診断治療を実践します。
4. 地域医療機関との連携強化を図ります。
5. 自ら研鑽に努め、良質な医療の提供に役立てます。



Minami Wakayama
Medical Center

南和歌山医療センターの基本理念である
『思いやりのある医療を実践します』に基づき、

1. 明るく (A)
2. 挨拶があり (A)
3. 愛のある (A)
4. アカウンタビリティ (納得説明義務) (A)

の4つの頭文字のAを基本デザインとしています。

これは丸みをおびた形でやさしさを表現し、4つの理念が集まることで、空 (明るい未来) に向かって羽ばたく鳥を表しています。4つのカラーは黄色が明るさ、赤が愛、青と緑は南和歌山の自然の象徴である綺麗な海と、山を表現し、南和歌山医療センターの環境の良さもアピールしています。

受診者の皆様の義務

- 南和歌山医療センターは受診者の皆様と病院の双方がお互いに尊敬し、協力し合うことが安全かつ良質な医療の提供につながるものと考えています。
受診者の皆様には以下の事項に合意し、守っていただく必要があります。
1. 安全かつ最善の診療のためにご自身の身体や必要事項に関する情報を、私たち職員に正確に伝えていただくこと
 2. 検査・治療は説明を受け、納得・合意の上で受けていただくこと
 3. 当院は近隣の医療機関と連携して専門性の高い医療を提供する急性期病院である。救命救急、がんに対する医療と緩和ケアを提供する病院の役割をご理解の上、診療体制維持に協力いただくこと
 4. 病院内では静粛を保ち、院内のルールに従っていただき、他の来院者や入院中の方に迷惑をかけることのないよう配慮していただくこと
 5. 病院内ではお互いに礼儀正しく思いやりのある態度で接していただくこと
 6. 医療費の支払い請求を受けたときは遅滞なくお支払いいただくこと

受診者の皆様の権利

- 患者としてあなたには
1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
 2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
 3. 個人情報を守られる権利があります。
 4. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
 5. 治療法を選択できる権利があります。
 6. 治療法について、第三者の意見を聞くことが出来る権利があります。
 7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

新年のごあいさつ



院長 中村 善也

新年明けましておめでとうございます。コロナ禍で4回目の新春を迎えました。昨年5月にコロナ感染症が2類相当から5類に引き下げられましたが、コロナの感染力が低下した訳ではなく、また、特効薬が出来た訳でもないため、医療機関に於けるコロナ感染対策に関しては、ほとんど従来通りなのが現状かと思えます。しかし、昨年プロ野球日本シリーズの観戦状況などを見ていますと、世間ではコロナ感染がなくなったかの様な印象さえ受けます。その様な状況の中で、病院の感染対策を如何にして世間の肌感覚に近づけるかが今後の大きな課題かと考えています。これまで通り、地域医療支援病院としての責務を全う出来るよう職員一同努力してまいりますので、本年もよろしくお願いいたします。

副院長 橋爪 俊和

あけましておめでとうございます。長きにわたるコロナ禍に一応の決着をつけたと思いきや、世界情勢の目まぐるしい変化と収束の見えない現状から経済的な困窮が継続しています。そのあおりを受け、物価高騰による医療機関への圧迫も厳しく、節約に努めながら、病院機能充実とサービス向上への注力を怠らず、地域支援病院の役割を担うべく努力してまいりました。また、感染への対応も継続的に配慮しております。まだまだ役割を果たせていないところもあり、地域医療機関の皆様からご意見を賜りながら、確実・適正・迅速に使命を遂行いたします。本年もご支援ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

統括診療部長 横山 省三

あけましておめでとうございます。平素より地域医療の充実にご高配賜り誠にありがとうございます。昨年は、地域連携におきまして当院の事情により先生方にはご不便をおかけし申し訳ございませんでした。本年は、紀南地区において様々な疾患に対する医療が完結できるよう地域の先生方とさらに連携を強め、当院の役割を果たしていきたいと考えております。今年はいよいよ医師働き方改革が始まります。地域の先生方や住民の皆様にご迷惑がかからぬよう尽力したいと考えております。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

薬剤部長 古川 順章

新年あけましておめでとうございます。当院の基本理念は「思いやりのある医療を実践します」です。患者さま一人ひとりに向き合い、地域の皆様が安全で安心して医療を受け、かつ皆様の思いに応えるために引き続き努めてまいります。またシームレスに医療を提供するために、地域の医療機関の皆様との連携体制をさらに強化し地域医療に貢献できるよう、メディカルスタッフ一同で協働して頑張っていきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

看護部長 坂口 幸子

明けましておめでとうございます。

令和6年（2024年）は辰年。1年がタツのがとても早く感じております。干支にちなんで、㊦ゆめめ努力をし、㊦よくたくましく、空高く昇ろうとする龍のように気持ちも上向きに、勢いのある年になるようにしたいと思います。新型コロナウイルスは5類へと変わりましたが、引き続き世の中の情勢に対応しつつ、地域医療に貢献できるように職員一同、取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

事務部長 岡井 健二

新年あけましておめでとうございます。地域の医療機関の皆様方には日ごろから当院の運営にご支援、ご協力賜り誠にありがとうございます。2024年は診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の同時改定、医師働き方改革、第8次医療計画のスタートなど節目の年といえます。医療を取り巻く環境が変わりつつある中、これからも皆様方から頼られ、求められる医療機関を目指して取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

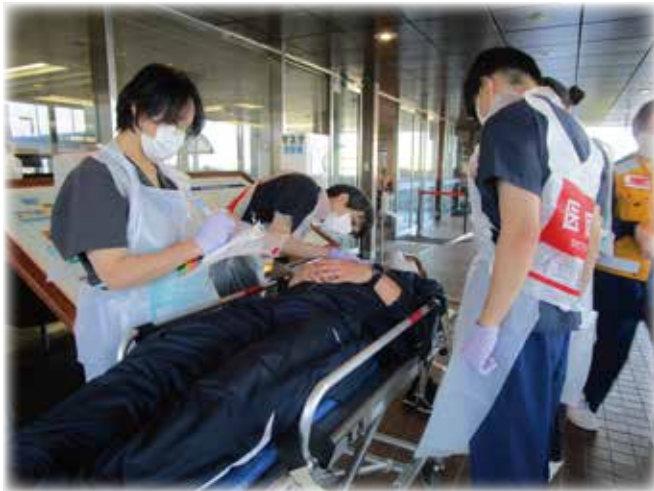
2023年度災害対応訓練を 開催しました

救急・災害医療部長 川崎 貞 男

COVID-19患者が、世間的には一息ついた感もある今日この頃ですが、12月になるとじわじわCOVID-19患者は増えてきているようです。そのような中で、2019年以来、当院では、久々の災害対応訓練を実施いたしました。2021年度、2022年度は机上訓練として、災害訓練を実施しましたが、模擬患者を使った訓練をした方がという声もあり、何とか開催にこぎつけました。どちらが良いか、というものは無く、昨年度に実施した訓練で得たものもあり、机上訓練も捨てたものではないなという実感を持っていました。

災害訓練の目的はいくつかあり、職員に災害対応マニュアルを読んでいただく数少ない機会ですので、その存在を知ってもらい、できれば読んで頂くのが一つの目的です。しかし、丹精込めて書いた災害対応マニュアルですが、実際に災害が起きた際に果たしてこれが読まれるのかというと、？がいくつも並びます。連絡先の一覧表、種々の報告書などは活用されるでしょうが、ゾーンがどうした、連絡方法がどうしたという部分は正直なところ、やってみないとわからない部分も多分にあります。





では、どんなマニュアルが良いかと考えると、マニュアルを読まなくても良いマニュアルが良いのではという矛盾した結論に行きつきます。日本人、特に和歌山県民、さらに医療関係者は、マニュアルを読まないのです。そうですね。では、この矛盾を解決するために、どうしたらよいのでしょうか。

今回の訓練で、それを一部解決できるかもしれない方向が見えてきました。災害訓練ワーキンググループ（DMAT隊員+事務官）で、看護部のアクションカードの見直しと、災害対策本部で使用する情報整理の表をテンプレートとして作成しておく試みがされました。結果は、おおむね好評で、災害時対応の一步目を踏み出すためには、役立つのではないのでしょうか。



こういった試みができるのも、災害訓練をすればこそ、です。久々の実動訓練で、思い出しながら実施した部分もありますが、何とか実施する事が出来ました。これには、熊野高校・田辺消防・白浜消防などの病院外の方の助けもあってこそでした。また、事前に長時間にわたって準備いただいたワーキンググループの方にも、非常に感謝しています。

事後の振り返りは、まだまとめ切れていませんが、新たな問題もあぶりだされています。災害訓練・災害時の準備は、少しずつでも進めなければいけません。いったん立ち止まると、ゼロになる可能性もあります。そうならないよう、今後も継続的に災害訓練を実施していければと考えを新たにしているところです。



編集後記

明けましておめでとうございます。今年は辰年で干支では「甲辰（きのえ・たつ）」の年です。

調べてみますと、甲辰は、あまねく光に照らされ、急速な成長と変化が起きる年になることを指し示しており、目に見える表だった行いも、これまで目に付かなかった行いも、ありとあらゆるすべてに光が当てられ、大きく変化していく年だそうです。

南和歌山医療センターも患者さんや地域の開業医の先生方から期待されるように良い方向に大きく変化できればと思います。

経営企画室長 犬丸良平